北九州市立則松中学校

【学校ホームページアドレス】
www.kita9.ed.jp/norimatsu-j

ジャガイモ

校長通信　№２６２

令和５年　６月１３日

「 感動の卵② ～ふれあい合宿記・試肝会～」

校長　江　口　　満

【前号からの続き】いよいよ初日午後の活動「ＯＬビンゴラリー」が始まった。体育館で説明を聞き、各班ごとに作戦会議。タイム差をつけて多目的室からスタート。私は、コースのほぼ中間地点に陣取ることにした。そうすれば、全ての班の様子を写真に収めることが出来るからだ。ＯＬビンゴラリーなどの詳細は、一年生の皆さんの作文に譲ることにするが、皆さんの笑顔あふれる姿が印象的だった。実はこのコース、近隣に住んでいる私のジョギングコースでもある。しかし、貯水池が見えている間はよいが、いったん林の中に入り込むと方向感覚を失う難コース。そのコースを一年生は、ワイワイ言いながら走り回り、またある時は逆走しながらゴールを目指した。カメラを向けると、班ごとに工夫を凝らしたポーズ。今年も実にノリがいい。写真撮影の度に「ありがとうございます。」とお礼を言われ、何ともほほえましいことか。そして一日目の夜、背筋も凍る「試胆会」を迎えるのである。

5月19日ふれあい合宿
初日、夕食の様子

６時過ぎ、体育館に一年生が集合。今年の怪談話の担当はＨ先生だ。生徒の前で準備を始められるＨ先生。彼の周りの空気はもうすでに違う。なんとＨ先生は雨天時も考慮され、１０ほどの怖い話を仕込んでおられた。その中でもとっておきの恐い話を始められた。バックミュージックも流れる。すると気温が２、３度下がったような気がした。耳をふさぐ生徒や先生が続出。Ｈ先生の新たな一面というか、特技を知った。今回聞けなかった怪談話をいつか話してくれるだろうか。

Ｈ先生の怪談話に耳をふさぐ生徒たち

体育館で怪談話が進行中の７時過ぎ、別室ではお化けが続々と集まってきた。失礼、他学年から応援してくださるお化け役の先生方が続々と集まってきた。一年生の皆さんには内緒。一年の先生方よりもお化けのほうが多いので、恐怖を感じるはずだ。今回もスタジオえぐちさんから私物の試胆会グッズをお借りできた。試胆会記念写真セットなど豊富な品揃え。どのグッズで脅すのか、控室で待機しているお化け役の先生方のほうがワイワイガヤガヤとはしゃいでいる。お化け役に完全にハマってポーズをとる先生もいる。

陽が完全に沈み、一年生は試胆会のスタート地点まで移動した。その間にお化け役で来ていただいた先生方が、配置に着く。正直言って、生徒たちが来るまでの時間帯、一番恐怖を感じるのは、お化け役で一人取り残された先生方なのかもしれない。時間差をつけて生徒たちが出発してきた。強がっている男子生徒もかなりビビッている。腰を抜かす生徒にも容赦しないお化けたち。生徒たちの悲鳴が貯水池にこだまし、ふれあい合宿初日の夜が更けていった。【次号に続く】

日没とともに続々と応援のお化けたちが玄海青年の家に集結した！
どの先生か分かるだろうか。正解は裏面へ

「一番怖いのは人間」　１年４組　Ｋさん

（前略）夕ご飯を食べ、待ちに待った肝試しがやってきました。肝試しの前にH先生のこわ～い話を聞きました。こわい話だけで、U先生とＹくんが泣きそうになっていました。U先生とＹくんとぼくの三人で固まって聞きました。H先生が最後、机をバチンとたたくと、U先生とＹくんが「きゃっ」と言ったのが一番こわかったです。やっぱりこの世の中で一番こわいのは、人間だなと思いました。（後略）

スタジオ江口さんの撮影用お化けセット

「一大イベントを終えて」　１年２組　Ｈさん

私はふれあい合宿を通して、責任感を感じました。なぜならみんなと違う仕事がたくさんあったからです。その中でも司会などがあり、初めての経験をしてとてもやりがいがありました。（中略）それ以外で試胆会が一番楽しかったしおもしろかったです。初めにH先生がこっくりさんの話をされ、迫力のある声、演技だったので、とてもおもしろくかつ怖いと思いました。その話が終わってから試胆会をすることで、より怖さが増してスリルがあったなと思いました。こうやって暗いときに活動することがめったにないからとても怖く、おもしろみがありました。（後略）

撮影が終わってふり向くと、後ろに…

「赤信号みんなで渡れば怖くない？」　１年３組　Ｍさん

ぼくがふれあい合宿で一番印象に残ったことは、肝試しとH先生の話です。肝試しでは、班の人の顔も分からないくらい暗くて、お化けが出てきても怖くないように、校歌を歌い肩を組みながら、お化けが出てきても平気で楽しく行けました。これこそ題名にもある「赤信号みんなで渡れば怖くない」を表しています。しかし油断するとすぐにお化けが出てきたので、油断大敵でした。

学年主任Ｓ先生の迫真の演技

もっと怖かったのがH先生の話です。こっくりさんの話は信じたくもないし、信じたくなくもないのでそれがもっと怖かったです。H先生は雨の時も考えて、色んな話を準備してくださってうれしかったです。低い声と目をつぶりながら場面を想像するのは、怖い話だけではなく普通の国語の話でも声を変えたり、場面を想像出来るんじゃないかと思いました。（後略）

「ふれあい合宿ありがとう」
１年１組　Ｈさん

試胆会は一日目の夜７時からありました。外はもう暗く、スタート地点に行くにつれてどんどん暗くなっていきます。まだ始まってもないのにとても怖くて、友達と小声で話しながら怖さを忘れようとし、スタート地点まで向かいました。スタート地点に着きドキドキしていると、出発する順番はランダムだと先生が教えてくれました。「最後だけには絶対なりたくない！」と心の中で必死に願ったけど、私たちの班が見事に全クラスで一番最後でした。班のほとんどがビビりで、前に進まないと思ったのでH先生もつれて六人で山に入りました。

エ？こんなところで記念写真？

スタートしてからはいつどこから何が来るか分からなかったので、ひたすらH先生にくっついて歩きました。怖すぎて班の誰かが「ギャー！」という声が聞こえたら、何も確認せず真っ先に班の先頭へ行き全力ダッシュで逃げました。なのでどんなお化けがいたのかほとんど覚えてないです。それでも班のみんなと寄りそい、叫び散らかし怖かったけどそういう所がとても楽しかったです。一人じゃ絶対進めなかったし、仲間と一緒だからこそ怖いながらもゴールまでたどり着けたと思います。試胆会では仲間の大切さを学び、先生がいるときの安心感を感じました。（中略）

このふれあい合宿を支えてくれた人達に感謝です。ありがとうございました。これからも何事にも全力で取り組むので、よろしくお願いします！